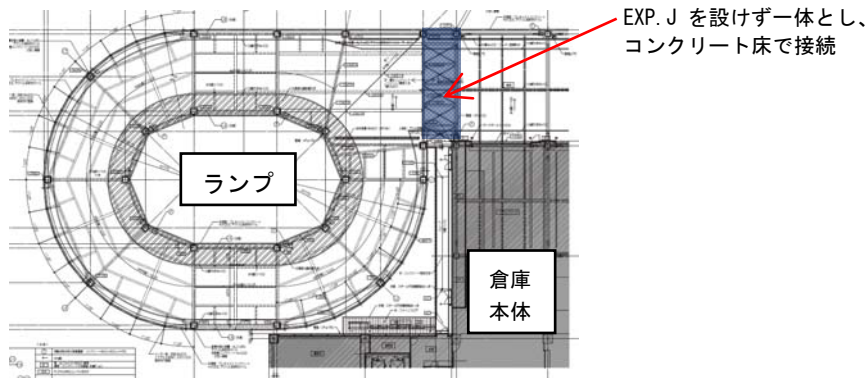


③ 倉庫本体とランプの一体化

倉庫本体とランプの接続部は、エクspansionジョイント（EXP. J）を設置するのが一般的です。しかし、本案件ではトレーラーが繰返し走行することによる EXP. J 金物の劣化を防ぐために、コンクリート床で接続し一体化しています。倉庫本体とランプは形状や剛性が異なるため、地震発生時等には接続部に大きな力がかかりますが、十分な耐力を確保しています。



④ 最適な施工計画を実現するフロントローディング設計

倉庫本体は、大きな積載荷重に対し合理的な架構となる柱 RC 梁 S 造の T0-RCS 構法としていますが、中央車路・ランプは工事資材の搬入を容易にするため、S 造として先行建方を行い、工事車両の通行を可能にして工期短縮を図っています。

